

# 成城教育

第182号

2018年12月30日

特集 成城の「食」を語る



成城学園教育研究所

昨年度、年中組の時に学園の管財課の方々が木材を使い椅子を作る様子を見せて下さいました。そして指導もしていただき釘と金槌を使い木工をしました。その経験から今年度も継続して活動することになりました。「ちよūdいものがあるののでよろしければ取りに来ませんか？」という手紙をいただき、学園の中の管財課の場所を探しながら訪ねました。そこで木材を一人一人手渡ししていたきました。そのような思い出のある木材を使い「何かを作ろう。」「自分たちも大工さんになりたい。」という子どもたちの意欲が高まりました。そこでカラー工作紙を使い、自分たちで形を決めたり、組み合わせをしました。そして一度実際に木材の上に工作紙を並べ場所を決めてから釘を打ちました。形だけでなく釘の数や模様を考え、「紙に対し釘が一つだと回転できるが、二つだと紙は回転できない。」ことなどヒントを得ながら作業を進めていきました。

作品について作者に話を聞いてみました。  
右上の作品は、ゲームをしている所だそうです。両端はボタンで動かすことが出来、上の面の丸は画面を変えられます。

左上の作品は宇宙。「星が空に光っている。」難しかったところは「星を（形に）合わせるが大変だった。けれども三枚重ねたら出来た。」それで偶然によりひらめいたようです。

右下の作品は「おうちの中。丸いのはソファ、四角はテーブル、三角は魚」だそうです。難しかったところは「形を並べるところ。」確かに図形は対照的にきちっと置かれ、良く考えた様子が伺えます。また釘の打つ場所を工夫したそうです。

真ん中の作品は、「人を作った。右の三角は魚で人が魚たちを見てのる。」上の面の丸はボタンで「ボタンを押すと人が魚を捕まえられる。」との事、なるほど人が魚を釣っている様子がよく表現されています。

左下の作品について、「パズルを作ろうと思った。釘を打っていったら完成した。」

どの子どもも図形を並べたり、釘を打つところが楽しかったようです。デザインを工夫し考え、釘を打っていく活動は難しく、またそれを楽しむことが出来たのは、年長組のこの時期だからこそではないかと思います。

同時に釘や金槌の扱い方、怪我をしないように気を付けることも教わりました。憧れの管財課の方々のように作ってみたい、同じようにやってみたいという気持ちを胸に取り組んだ活動により多くの事を学び得ることが出来たようです。

# 成城教育

第 182 号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園年長組 遠藤瑚々奈 寺田眞奈子

林香桜

田代莉子

吉元優翔

「表紙」のことは 宇田直美

□絵グラビア 学食の風景／一〇〇円朝食メニュー

## ■特集 成城の「食」を語る

### 第I部 「私のランチ」

給食に思うこと	菊地良幸	5
私のランチタイム	押田裕恵	6
食べるのをやめたもの	篠田達也	7
憧れの「私のランチ」	松崎 渉	8
成城と食欲と私	河瀬悠希	10
弁当づくりから見えてくること	西本亜香音	11
私のランチ事情	松岡葉子	12
弁当派	牛山丈嗣	14
私の昼食遍歴	鈴木純二	15
「弁当」に生かされている日々	八木道雄	17
出前から地下食堂経由、大学学生食堂	網干 守	18
四十年前のランチ風景	浅井良夫	19
日日 探昼食是好日	阿部勘一	20
おひとりさまのランチ	杉本義行	23
はじめての成城ランチ	羽根佳祐	24

カット飯田健二



《大学研究室から》 ことばの世界	水澤祐美子	89
《ずいひつ》 盆踊りという日本人のコミュニケーション	國寶真美	96
《ずいひつ》 課外教室『沖繩 歴史と生活に触れる旅』を振り返る	安田靖子	99

「自然と親しむ教育」の今日的意義	宮沢栄次	102
------------------	------	-----

連載コラム 成城人物誌 山崎匡輔 その3	岩見寿子	110
----------------------	------	-----

**ブックレビュー**

自著紹介

『信州松本発。博物館ノート―地域博物館でのささやかな試みと実践』	窪田雅之	111
----------------------------------	------	-----

教育研究所 研究助成報告書要旨

数学検定教科書（主に数Ⅲ）に於ける数学的特徴及びそれへの対応策	久保昌之	114
---------------------------------	------	-----

『成城教育』バックナンバーを読んで

『成城教育』第一五九号の孕石稿を読んで	原田新一	115
---------------------	------	-----

第一七九号の特集「成城学園一〇〇周年〜第二世紀をむかえて〜」を読んで	林 聖也	118
------------------------------------	------	-----

もう一つの「成城」をさがせ！	陳 力衛	120
----------------	------	-----

**教育研究所報**

三階に家なし 其十四 ―無言の教育―	宮崎修多	123
--------------------	------	-----

教育研究所への階段	川住あゆみ	126
-----------	-------	-----

編集後記		128
------	--	-----